



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

平成31年
2019
春季号

Vol.31

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ご挨拶〉

新しい時代にふさわしい県政を

平成31年4月7日に執行された県議会議員選挙において、三期目への就任が決まりました。県民の皆様から、次期4年間に於ける更なる活動への期待を頂いたものと、身が引き締まる思いです。

5月1日から平成から令和に代わり、新しい時代が始まります。私は、持続可能で活力にあふれ、県民の皆様が未来に希望の持てる毛呂山町、鳩山町、越生町、そして埼玉県をめざして引き続き邁進してまいります。

県議会議員選挙が終わる

～武内県議が3期目続投～

埼玉県議会議員選挙が、平成31年3月29日告示、4月7日投開票の日程で行われました。武内政文県議会議員は無投票当選により、3期目の就任が決まりました。新たな任期は、2019年4月30日から2022年4月29日までの4年間です。
〈選挙結果の詳細は県のホームページをご覧ください。〉

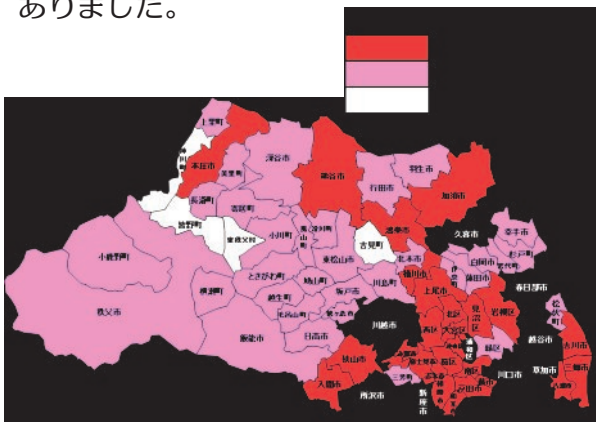
「特殊詐欺撲滅条例」が成立 ～自民党県議団が提案～

自民党議員団では昨年4月からプロジェクトチーム（武内県議がメンバー）を立ち上げ、巧妙化と被害拡大が懸念される振り込め詐欺など特殊詐欺の撲滅をめざし、条例案を検討してきました。当団は2月定例県議会に条例案を提案し、全会派一致で可決成立しました。

条例では、特殊詐欺の被害防止に関し、県の責務を明らかにするとともに、金融機関の役割や県民の役割を明記しました。また、対策として県による普及啓発や情報提供、住民同士の声の掛けあい、通報などを規定しました。

平成30年 市町村別被害発生状況

県全体では、24億8,975万円（1,420件）の被害がありました（未遂も含む）。当地区では毛呂山町61万円（1件）、鳩山町59万円（1件）、越生町1,770万円（1件）の被害がありました。



特殊詐欺は他人事ではありません！事前予防と警察への通報を。

平成31年2月定例県議会（平成31年2月20日～3月15日）

「新時代へのチャレンジ予算」決まる

一般会計 1兆8,884億6千万円（対前年比+1.2%）
（特別会計との合計 3兆4,789億882万9千円（対前年費+2.5%））

《私の選んだ注目すべき予算》

●県立病院の機能充実 4億5,866万円

循環器・呼吸器病センターに「脳神経センター」を設置。また、がんセンターに総合診療体制を構築。



▲県立がんセンター

輝け100年人生

●「健康づくり安心基金」の設置 3億7,285万円

県たばこ税収入額の5%相当額を新設の基金に積み立て、健康関連施策の推進や受動喫煙防止対策、保健医療情報の活用検討に充てます。



●子供の居場所づくりと貧困の連鎖解消 9,026万円

「子ども食堂」など多様な子供の居場所を拡大。

●シングルマザーなどひとり親家庭の支援 9,123万円

ひとり親家庭に役立つ情報を新たに発信、就職スタートアッププログラムなど。

●農大跡地等への先端産業の集積 43億655万円

県農業大学校の跡地139.2haに、IHI新工場などの土地区画整理と近未来技術の実証フィールド12.4haを整備します。また鶴ヶ島ジャンクション周辺13市町においてLPWA（通信ネットワーク）を活用したIoT化の促進や地域経済けん引事業者のAI・IoT導入への支援などを行います。

スマート社会の実現

●農業のスマート化 2,237万円

AIを活用した茶生産技術の開発及び米麦栽培の省力化にドローンを活用。



●県民向け問合せAIの構築 8,412万円

県民からの問い合わせ、相談にAI自動システムを導入し、PC、スマホから24時間365日利用可能にします。

●AI導入による犯罪捜査の効率化 2,000万円

AIを活用して事件分析を自動化、スピードアップし、検挙力を向上させます。

●ラグビーワールドカップ2019 15億9,074万円

今年9月に熊谷ラグビー場で開催される試合に向けての準備と大会運営。



魅力的で持続可能な埼玉

●こども動物自然公園 キリン舎リニューアル 8,000万円

開園40周年に向けてキリン展示を一新。



●ジェトロ埼玉の県内誘致 1,600万円

幅広い国や非製造業等の新たな分野で、中小企業の海外展開支援を強化。

●東京2020オリンピック・パラリンピック 11億8,408万円

さいたまスーパーアリーナのカラーLED化や表示の多言語化、埼玉スタジアム2002のミストシャワーの設置など。



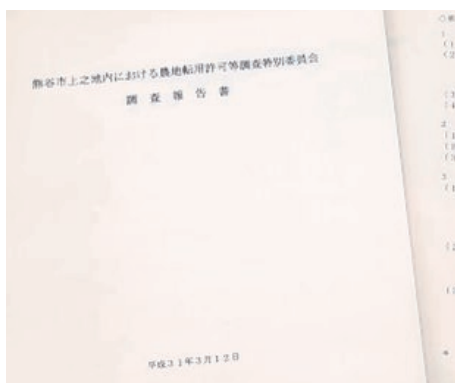
草加児童相談所を新設

越谷児童相談所の支所を格上げし、草加児童相談所を新設します。これにより、県内で7相談所の体制になります。

百条委員会の調査結果を報告

～県と熊谷市の不適切な農地転用手続きを指摘～

昨年12月に設置された「熊谷市上之地内における農地転用に係る調査特別委員会」（武内県議がメンバー）＊は、8回にわたり延べ15人の証人喚問、書類審査、米沢市、熊谷市2か所の現地調査を経て、調査報告書を2月定例県議会に提出しました。百条委員会の指摘事項を踏まえた今後の県や市などの対応が注目されます。



▲百条委員会の報告書

「本農地転用許可処分は、農地法上認められない所有権移転を前提とした事前相談を進めていたことや、開発許可に関する市条例の運用に疑義があること、国の発行した収用等証明書に実際の収用面積が明示されていないなど、都市計画法等の開発要件の確認不足という問題があった。これらを踏まえると、本農地転用処分は本来許可されるものではない。県は、再度、適正な手続きにより見直し、精査し、その結果に基づき適切な

処分を行うとともに、機会に報告すべきである。熊谷市においても同様の対応をすべきである。」

（詳細は県議会ホームページをご覧ください。）

＊山形県米沢市の所有地の一部が国の高速道路事業にかかり、公共移転を理由に第一種農地の転用許可を受けた食品機械メーカーが、その土地をスーパー運営会社に転売した案件について調査するため、地方自治法第100条に基づいて平成30年12月に県議会に設置された特別委員会。

< 指 摘 事 項 >

2019年度県施工の主な地元公共事業



▲車がすれ違えないほど狭い黒山三滝付近

- 越生町**
- ⑫県道越生長沢線（黒山地内）道路改築（予備設計委託）
 - ⑬越生大橋 橋りょう修繕（補修設計委託）
 - ⑭県道飯能寄居線（古池地内）舗装道整備
 - ⑮県道越生長沢線（黒岩～津久根）舗装道整備
 - ⑯砂防施設付帯工事（黒岩地内）
 - ⑰柳田川橋 架け替え工事

- 鳩山町**
- ⑦十郎橋 橋りょう架け換え工事（用地補償委託）
 - ⑧県道ときがわ坂戸線（大豆戸地内）舗装道整備
 - ⑨県道岩殿岩井線（石坂地内）舗装道整備
 - ⑩鳩川（十郎橋付近）河川改修（用地補償委託）
 - ⑪鳩川（熊井地内）河川事業（樹木伐採・土砂撤去）＊13か月予算

＊13か月予算とは？
実質的に翌年度に執行する事業を2月補正予算（3月）に計上し、年度当初から切れ目のない公共事業が実施できる。



平成30年度に完成した主な事業及び継続事業

- ① 越生小学校裏の砂防えん堤（越生町黒岩）
〔越生小学校が災害時の避難施設として指定される条件が整う〕
- ② 県道東松山越生線歩道の整備（鳩山町熊井）
〔橋の部分の歩道整備により一応事業は終了〕
- ③ 越辺川まるごと再生事業（毛呂山町前久保）
〔岡本団地北側に遊歩道を新設、大谷木川に飛び石を設置。5月末完成〕
- ④ 歩道橋の塗り替え・2か所（毛呂山町岩井、越生町黒岩）
〔安全な通学路を確保。5月中旬完成。〕

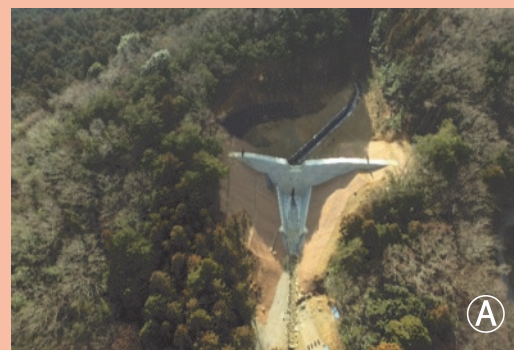


▲令和3年度まで耐震化工事が行われる鎌北湖

- 毛呂山町**
- ①「鎌北湖地区」農業用ため池緊急耐震化対策事業
＊本年度は水を抜いて堤体の土を入れ替える工事を行います。堤の桜は現在のまま残す予定です。
 - ②県道川越坂戸毛呂山線（川角地内）舗装道整備
 - ③葛川河川改修（河道掘削、用地補償）
 - ④越辺川（今川橋上流）（用地測量・補償）
 - ⑤大谷木川（長瀬地内）河川事業（樹木伐採・土砂撤去）＊13か月予算
 - ⑥越辺川（越辺川橋～堂山下橋）河川事業（樹木伐採・土砂撤去）＊13か月予算



▲河川改修に向け用地測量が広がる越辺川（苦林地内）



▲完成した越生小学校裏の砂防えん堤



▲完成した熊井地内の歩道